

明治十五年十一月

自由新聞發行規則

明治十五年十一月

自由新聞社規則

第一章 總則

第一條 本社ハ主意ハ新聞紙ヲ發兌シ以テ我自由黨ノ主義ヲ表揚シ輿論ノ勢力ヲ培養スルモアリ

第二條 本社ヲ自由新聞社ト稱ス東京銀座三丁目十九番地ニ設ク

第三條 本社ノ資本金ハ十萬圓ト豫定シ之ヲ二萬株ニ分テ一株ヲ金五圓トス

第二章 株主

第四條 本社ノ株主ヲラント欲スル者ハ本社ニ同主義ノ人ニシテ其加入モント欲スル株數ニ本社ニ申出ツベシ

第五條 株主ハ第三條ニヨリ其株數ノ多寡ニ應シ利益金

第六條 株主ハ總會ニ出席シ其株數ハ應シ發言投票スル
權アリトス然レハ一人ニシテ廿五以上ノ投票權ヲ有ス
ルコトヲ得ス

株主

第七條 株主ハ本社ノ利害得失及役員ノ行為上ニ關シ臨
時議スヘキ事アリト思考スルキハ何時タリトモ三十名
以上ノ連署ヲ以テ社長ニ請ヒ臨時會ヲ開クヲ得

第八條 社長若シ前第七條ノ請求ヲ受ケ三周内ニ開會
ノ手續ヲナサハルニ於テハ其開會ヲ請求シタル株主ハ
自ラ其手續ヲ爲スヲ得

第九條 株券ノ賣買讓與ハ其株主ノ自由ニ任スト雖モ必
ス本社ノ許可ヲ得テ其手續ヲ行フヘシ

第十條 株主ノ責任ハ其株券丈ヲ以テ保證有限トス

第三章 計算

第十一條 本社ノ會計ハ毎年五月ヨリ翌年四月迄ヲ一期
トナシ其一年間ノ出納ヲ精算シ其贏利ノ多寡ヲ調査
ス

第十二條 本社ノ純益金ハ其十分ノ八ヲ總株主ニ配當シ
殘金十分ノ二ハ之ヲ本社ニ積置キ不處ノ費用ニ供ス

第四章 役員

第十三條 本社ノ重立タル役員ハ左ノ如シ
社長 一名
常委員 六名
會計監督 一名

會計監督 壹名

幹事

壹名

記者

定員ナシ

第十四條 社長及常委員ハ定式總會ニ於テ本社ノ株主ナル自由黨當時ノ役員ノ内ヨリ公撰シ會計監督ハ株主ノ内ヨリ公撰スルモノトス

第十五條 幹事及記者ハ小集會ニ於テ出席員ノ多數決ニ由テ之ヲ命シ若クハ免スルモノトス

但其他ノ雇員ハ社長ノ命免スルニ任スヘシ

第十六條 社長常委員及會計監督ハ其任期一ノ年トス但シ再三ノ選ニ當ルコトヲ得又其他ノ役員任期ハ小集會ニ於テ決スル所ニ任ス

第十七條 諸役員任期中欠タルコトアル者ハ小集會ヲ開

キ社長又ハ常委員ハ現役員及自由黨ノ役員ノ内ヨリ公撰シ會計監督ハ株主ノ内ヨリ公撰スルモノトス但シ其任期ハ前役員ノ任期ヲ以テ限トス

第十八條 社長及會計監督ハ定式總會ニ於テ決スル所ノ報酬金ヲ受ク又ハ其他役員ハ小集會ニ於テ決スル所ノ報酬金ヲ受クルモノトス

但常委員ハ別ニ報酬ヲ給セサルヘシ

第十九條 社長ハ總會及小集會ニ於テ議決シタル事項ヲ施行シ會計監督ハ總會計ヲ統治シ常委員ハ小集會ニ出席シ社長ト共ニ本社常務上ニ對セル便宜又ハ必要ナル事項ヲ議定スルモノトス

第二十條 幹事及記者其他役員ハ社長ノ命スル所ニ隨ヒ

其職務ヲ執ルモノハ本會ノ職員ニ屬スルモノトシ、
第五章 會議

第二十一條 總會ハ株主總體ノ集會ニシテ之ヲ定式臨時
ノ二種ニ分ツルベシ、
第二十二條 定式總會ハ毎年五月之ヲ開キ其年度ノ會計
ノ報告翌年度ノ會計豫算及役員ノ改選等ヲ舉行スルモ
臨時總會ハ定式總會ニ於テ舉行シ得サル至急ノ
事項ヲ一切議決スルモノトシ但シ總會ハ會計ノ報告ヲ
ナスノ外株主五十名出席スルモノヲ要スルヲ得、
第二十三條 小集會ハ社長常委員及會計監督ノ集會ニシ
テ社長ノ意見ヲ以テ臨時之ヲ開キ幹事以下ノ諸役員ヲ
命免シ又ハ本社ノ常務上ニ對シテ事項等ヲ議決スルモ

ノトス但シ其議決ハ小集會ニ出席スベキモノ、過半數
ヲ以テスベキモノトス

第六章 資金

第二十四條 本社資本金豫定ノ內金三萬五千圓ヲ創業費
并營業資本金トナシ金六萬五千圓ハ豫備トナシ利付ノ
公債證書ヲ買入レ株主一般ノ信用スル所ノ銀行ニ預ケ
置クヘシ右公債ノ利子ハ本社ノ純益ト同ク株主ニ分配
スヘシ但豫備ノ公債ヲ使用セサルヲ得サル場合ニ於テ
ハ總會ヲ開キ其議決ヲ得サレハ使用スルヲ得ス

